

編集 後記

本号には、避難所サーベイランスに関する公衆衛生活動報告1編と、新任期保健師の実践能力、肺炎球菌ワクチンの接種の実態、公衆衛生看護の倫理の教育に関する資料3編の計4編を掲載しています。いずれも公衆衛生的意義の高い優れた論文です。公衆衛生のカバーする範囲の広さを知る意味でも、是非ご一読いただければと思います。

さて、すでにお気づきの方もおられると思いますが、論文の種類を論文タイトルの左上に記載しています。今後この体裁で論文を掲載する予定です。

論文の種類については第64巻第4号の「編集委員会からのお知らせ」に記載しておりますように、著者が希望した種類で査読し、基本的に審査の過程で編集委員会から変更を求めることはいたしません。投稿規定や学会のHPにあるフローチャートをもとに、投稿論文の種類を適切に選んで、奮ってご投稿くださるようお願いいたします。

本年1月から、編集委員会の体制が新しくなりました。私は編集委員長の2期目を務めることとなります。引き続き本誌の充実に努めて参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。 (西 信雄)

次号予告 (第65巻・第2号)

原 著

地域在住高齢者における筋骨格系の痛みに対する
対処方法の実態……………安齋紗保理, 他
地方紙に掲載された自己申告型死亡記事
……………中村好一, 他

公衆衛生活動報告

墨田区における2013~2015年度の成人の風しん
対策について……………松本加代, 他

資 料

高血圧通院者が抱える自覚症状の実態調査：平成
22年度国民生活基礎調査匿名データ
……………月野木ルミ, 他